

SCSK 株式会社が「Partner of the Year 2022」を獲得！ ASTERIA Warp ビジネスに功績を残した販売・開発パートナー企業を表彰する 「ASTERIA Warp Partner Award 2022」を発表し5社が受賞

アステリア株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下アステリア）は、2022年3月期において ASTERIA Warp ビジネスに大きな功績を残したパートナーを表彰する「ASTERIA Warp Partner Award 2022」を決定し、SCSK 株式会社、株式会社日立ソリューションズ、株式会社システナ、株式会社ラクス、リコージャパン株式会社の5社が受賞したことを発表します。

■ ASTERIA Warp Partner Award の概要

「ASTERIA Warp Partner Award」は、ASTERIA Warp ビジネスに大きな功績を残したパートナー企業に感謝の意を込めて表彰する制度です。ASTERIA Warp のパートナー制度には現在80社を超える企業が参画し、ソリューション提供や開発サポート等を通じて ASTERIA Warp 関連ビジネスのさらなる拡大を図っています。

2022年3月期に最も大きな実績を上げた企業に贈られるグランプリ「Partner of the Year 2022」は、SCSK 株式会社（本社：東京都江東区、執行役員 社長 最高執行責任者：當麻 隆昭）が獲得。また、2番目に大きな実績を上げた企業に贈られる「Excellent Partner 2022」は、株式会社日立ソリューションズ（本社：東京都品川区、取締役社長：山本 二雄）が獲得しました。

各アワードの受賞パートナー企業には、アステリアがSDGs^{※1}推進の一環として森林の間伐材有効活用に取り組む、熊本県阿蘇郡小国町産の「小国杉」を使った記念盾をお贈りしています。

※1 SDGs：Sustainable Development Goals の略。2015年に国連が設定した「持続可能な開発目標」をいう。国際社会の共通課題に対する17の目標で構成される。



Partner of the Year 受賞の様子

■ 「ASTERIA Warp Partner Award 2022」 受賞企業

表彰名	受賞企業名
Partner of the Year 2022 ASTERIA Warp 年間販売実績第1位	SCSK 株式会社

この度は、2021年度年間販売実績第1位となり、「Partner of the Year 2022」という栄えある賞をいただきまして誠に有難うございます。3年連続でこのような賞をいただけたのは、ひとえにアステリア社をはじめ、皆様のお力添えをいただいたおかげだと思っております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

2021年度は、経済活動の正常化が進み、中長期的な成長につながるDX関連の投資が増加する中、データ連携の需要の高まりを実感した一年となりました。2022年度におきましても、引続き営業力、技術力の向上を行ない、弊社の重点ビジネスである ASTERIA ビジネスの更なる拡大・成長に貢献していきたいと考えております。

SCSK 株式会社 執行役員常務
プラットフォーム事業グループ長 小峰 正樹 様

表彰名	受賞企業名
Excellent Partner 2022 ASTERIA Warp 年間販売実績第2位	株式会社日立ソリューションズ

この度は「Excellent Partner 2022」に選出いただき誠にありがとうございます。当社は「ASTERIA Warp」マスターパートナーとして2000年のアライアンス締結以来、20年以上の長きにわたりお取り扱いさせていただいています。これまで、お客様のDX（デジタルトランスフォーメーション）を支える基幹ソリューションとして、ERPパッケージや自社製品であるFutureStage等を連携し、お客様にご利用いただいております。今回の受賞はこのような取り組みが評価いただけた結果であり、大変うれしく感じております。

今後は、お客様のSX（サステナビリティトランスフォーメーション）を見据え、DXを共に推進し続けることで、「ASTERIA Warp」ビジネスの成長に貢献できるように努めてまいります。

株式会社日立ソリューションズ 産業イノベーション事業部
グローバル本部 担当本部長 早樋 憲治 様

表彰名	受賞企業名
Contribution Award 2022 ASTERIA Warp を用いたソリューションの構築・展開、ASTERIA Warp をテーマとしたセミナーなどの企画運営に取り組んだ販売・開発パートナー企業および ASTERIA Warp と連携可能な自社製品を持つパートナー企業	株式会社システナ 株式会社ラクス リコージャパン株式会社

この度は、3年連続「Contribution Award」という栄えある賞を賜り、誠にありがとうございます。弊社当部門では、RPA ツールから AI-OCR、BI ツールなど様々なツールを取り扱っており、ノーコード製品として「ASTERIA Warp」の展開を実施しております。「ASTERIA Warp」は、弊社他ソリューションとの親和性が高く、セミナーでは連携という観点で「ASTERIA Warp」を軸に、様々な製品を多くの方にご活用頂けるよう紹介させていただきました。

今年は Excellent Partner、来年は Partner of the Year を目指し、「ASTERIA Warp」と弊社他製品の連携で様々な観点の提案を推進してまいります。

株式会社システナ ビジネスソリューション事業本部
DX 推進部 部長 土屋 俊介 様

この度は「コントリビューションアワード」という栄えある賞を賜り、誠にありがとうございます。弊社の提供する経費精算システム「楽楽精算」をお客様にご提案する中で、「既存の社内システムとシームレスにデータ連携したい」というご要望・ご相談を頂くケースが増加しております。そうしたニーズに対して「ASTERIA Warp」は親和性が非常に高く、円滑な提案推進にお力添えを頂いています。

今後も「ASTERIA Warp」を紹介させて頂き、お客様に付加価値を提供して参りたいと思っておりますので、引き続きのご支援、ご指導を宜しくお願い致します。

株式会社ラクス クラウド事業本部
楽楽精算事業統括部 事業統括部長 吉岡 耕児 様

この度は「Contribution Award」という名誉ある賞を頂き誠に有難うございます。弊社の関西 SE 部門が「ASTERIA Warp」への取り組みを始めたのは、コロナ禍で世の中の働き方が変化し始めた 2 年前のことになります。弊社が提供する様々なデジタルサービスをつなげることができ、更に業務を自動化・省力化することのできる「ASTERIA Warp」は、お客様に新しい働き方をご提案する上で最適な製品と考えております。

関西エリアを中心に今後も様々なお客様に提案を進めて参りますので、引き続きご支援の程よろしくお願い申し上げます。

リコージャパン株式会社 RICOH Digital Services BU ICT 事業本部 ICT 技術本部
西日本ソリューション部門 関西 DX ソリューション部 部長 高橋 紀元 様

表彰名	受賞企業名
Project Award 2022 ASTERIA Warp を用いたプロジェクトで最も優れたソリューションを開発したパートナー企業	SCSK 株式会社

■ ASTERIA Warp の今後の展開

アステリアの ASTERIA Warp は順調に拡大を継続し、現在の導入社数は 9,600 社を突破。企業データ連携市場（EAI/ESB）では 15 年連続シェア No.1^{※2}を継続。2022 年 3 月期決算では、幅広い業界で DX に向けた取り組みの活発化に加え、改正電子帳簿保存法の施行に伴う新たな連携ニーズの拡大が継続し、ASTERIA Warp の売上げが過去最高を記録しています。

今後も引き続き、ASTERIA Warp の多様なデータソースとの連携機能を様々な業界に拡販するとともに、ノーコードの特徴を生かし、IT 人材不足解消など社会課題解決に向けたデータ活用を支援し、業務の効率化・自動化等 DX 推進に貢献してまいります。

■ 『ASTERIA Warp』について（Web サイト <https://www.asteria.com/jp/warp/>）

『ASTERIA Warp』は、異なるコンピューターシステムのデータを、ノンプログラミングで連携できる ASTERIA Warp を主力製品とするミドルウェアです。メインフレームやクラウド上のサーバーから表計算ソフトまで、様々なシステム間の接続とデータの変換を行うロジックを複雑なプログラミングなしで行えることが評価されています。

■ 『アステリア株式会社』について（Web サイト <https://www.asteria.com/>）

アステリア株式会社は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。主力製品の ASTERIA Warp は、異なるコンピューターシステムのデータをノーコードで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に 9,664 社（2022 年 3 月末現在）の企業に導入されています。また、Handbook は、営業資料や会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで持ち運べるサービスのスタンダードとして、1,647 件（2022 年 3 月末現在）の企業や公共機関で採用されています。

※2:テクノ・システム・リサーチ社「2021 年ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB 市場編」EAI/ESB は、それぞれ Enterprise Application Integration、Enterprise Service Bus の略で企業内外のデータ連携を司る製品カテゴリーを指す。

【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

アステリア株式会社 広報・IR 部：齋藤ひとみ・小出朱莉
TEL:03-5718-1297 / 携帯:080-2158-2167 (小出) / E-mail: press@asteria.com

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

アステリア株式会社 マーケティング本部：東出 武也
TEL:03-5718-1250 / E-mail: pm@asteria.com

アステリア、ASTERIA、Handbook はアステリア株式会社の登録商標です。
その他記載されている会社名、製品名、サービス名、ロゴ等は各社の商標または登録商標です。